

むらの 話 題



地域の話題をお待ちしています
(広報係 ☎ 885-0340 内線205)

「社会を明るくする運動」主催 作文コンテストで最優秀賞

このたび、第63回「社会を明るくする運動」茨城県推進委員会作文コンテストで、大谷小学校6年生の油井藍捺さんが「小学生部門」の最優秀賞・県知事賞を受賞しました。

見事に最優秀賞に輝いた作文の題名は「震災から学んだこと」。故郷の福島県大熊町で体験した東日本大震災での出来事を書き綴り、それに挫けることなく明るく生きていこうとしている姿勢が評価されたものです。

藍捺さんは、昨年4月に大谷小学校に転校入学して新しい学校生活をスタートされています。本とテニスが大好きで、現在の夢は2019年の茨城国体で茨城県代表選手になり、福島県代表選手と試合をすることだそうです。夢に向かって頑張ってください。



賀詞交歓会で新年の語らい



1月9日、美浦ゴルフ倶楽部にて「平成26年美浦村新春賀詞交歓会」が開催されました。

当日は村行政関係者をはじめ、商工会、村内金融機関、村建設業協会や地元産業の関係者、地元選出の国会議員、県議会議員等、約100名が一堂に会して新年の門出を祝いました。

出席された皆さんは、新たな年の始まりに臨み、昨今の経済状況や地域の振興・発展等について決意や抱負を語り合い、新年の挨拶を交わしました。

根本正氏「旭日双光章」受章



このたび、根本正氏（茂呂）が12月1日付で旭日双光章を受章されました。

根本氏は、これまで農村の生活環境改善・推進等に尽力されてこられました。また、行政の面でも長年にわたり美浦村議会議員として活動され、農政問題や教育問題、特に村立幼稚園児送迎バスの運行化に貢献される等、地域の活性化や生活の向上に関する多大な功績が認められました。

このたびの受章おめでとうございます。

今年も楽しく 親子スキー教室



1月18日、毎年恒例の親子スキー教室を会津高原たかつえスキー場（福島県）で開催しました。

今年は、村内の小学生親子43名が参加され、経験豊富な村体育協会スキー部の皆さんが、安全に配慮しながら生徒の技術に応じて基礎から指導をしてくださいました。

参加された皆さんは、好天のもと1日楽しくグレンデを滑ってスキーを満喫し、特に子ども達はめきめき上達していました。

美浦村消防団 勇壮に「出初式」開催



1月11日、光と風の丘公園において、新春恒例の美浦村消防出初式が行われました。

式には、村消防団員や江戸崎消防署美浦出張所の署員ら約290名が参加。寒風が吹き抜ける中で、消防団員は姿勢・服装・規律的な動作・機械器具操作等を来賓に披露し、消防・防災活動のための態勢が再確認されました。

また、式において消防活動功労者等の表彰が行われ、左記の方々が表彰されました。

【茨城県知事表彰】

《敬称略》

永年勤続功労章20年 部長 松葉時男(木原)
 団員 酒井正敦(興津)
 部長 富田正寿(馬掛)

【日本消防協会定例表彰】

功績章 副団長 松本博志(土屋)

【茨城県消防協会県南南部支部長表彰】

消防特別功労者 指導員 神保弘幸(信太)

【稲敷地方広域市町村圏事務組合消防長表彰】

操法大会出場分団
 第8分団(山内・八井田・根火・牛込)

【消友会表彰】

操法大会出場分団
 第8分団(山内・八井田・根火・牛込)

【美浦村長表彰】

優良分団
 第8分団(山内・八井田・根火・牛込)

【美浦村長並びに美浦村消防団長表彰】

操法大会出場分団員表彰 第8分団員26名

語りと音楽・舞踊 で風土記を表現



大野郷と信太郷のはなし「琴と鼓がつなぐ恋」の一場面

昨年12月22日、文化財センターで常陸国風土記をテーマにしたミニ企画展「美浦に伝わる風土記の世界」の関連イベント「語りと音楽・舞踊でつづる信太物語〜流海の陸より〜」が開催されました。常陸国風土記を基にした4つの物語を紹介し、語りとイメージ音楽、そして踊りで物語を表現しました。来場者は、企画展の展示品や「信太物語」を見て、当時の人々の生活や様子を身近に感じていました。

みほ文芸

正調俚謡 日和吟社題「松・竹・梅」一字以上詠込み有季無季随意

雪を弾いて伸びゆく竹に我が子重ねる母の夢

路地の梅さえ咲きそに温い初春の茶の間の笑い声

医者の注意もきれいに忘れ食っちゃゴロ寝の松の内

梅の木のよな武骨な字でも母の香りのする便り

おせち料理に梅の香そえて心豊かに春を待つ

狭い玄関ミニ盆栽の松も立派におもて・な・し

凛と明けたる新たな朝に幸がきらめく松飾り

景気戻れと願ひも強く門に大きな松飾り

梅の香りにうぐいすもちと春を先取るおもてなし

ひかる竹から始まるロマン古き日本の奥深さ

春に先駆け蕾の梅が開く新年松飾り

一升餅を背負ってよちよち歩き祝う門出の松の内

日差し柔らかく優しく注ぎ梅はほころび春を呼ぶ

梅の香りを初春風のせて清し年明け幸祈る

松に初雪なよ竹しなり梅は春待つ冬が好き

寒く冷たい冬にも負けず春の訪れ願う松

頻りに降りぬく大雪最中重みけちらすしなり竹

一月の俳句(題 当季雑詠)

駅伝に絆とドラマお正月

水餅の輝いてる厚さかな

鳥の群鳴き鳴き向かふ初音

寄り添ふて白息交はす人と馬

初日の出湖面なでゆく鳥の群れ

三元氣だよと添へし一筆初便り

母の祈り殊に長かり初詣

三世代ゴルフ初打ち空清し

せせらぎの重く聞こえて冬清水

積ん読の山を減らしぬ三ヶ日

航一路風に逆らふ春着の子

初春や古希も角出し古女房

田島草実

本橋清湖

高橋一步

飯塚筑風

石戸律華

山崎笑子

長谷川悦子

小蘭江久美

門脇悠美

木村幸子

下村松陽

上野八千代

伊藤葉子

渡辺希代

磯西涼香

沼寄朋香

塚本夏雲

(五十首順)

青野安佐子

石毛恵美子

伊藤八千帆

岡野洋子

木澤はしめ

高柳幸子

田島早苗

中島輝子

松葉よしひ

松本秀子

宮崎きみ枝

矢原はつひ



おめでとう 美浦所属馬 G I, J・G I 制覇!

「第65回朝日杯フューチュリティS」 アジアエクスプレス号



12月15日、中山競馬場(1600m芝コース)で行われた第65回朝日杯フューチュリティSにおいて、美浦トレーニング・センター手塚貴久厩舎所属のアジアエクスプレス号が優勝しました。

初めて芝コースを走るにもかかわらず、その実力を買われて4番人気となったアジアエクスプレス号。各馬ともきれいにスタートを決めた中、馬群の中段に位置取りました。道中はじっくり先行馬を伺いながら力をため、最終コーナーを回って集団の外側が空いたところをすかさず大外へ抜け出し一気に加速。先行馬をすべて抜き去って見事に優勝しました。

担当の田中厩務員は、アジアエクスプレス号について「大人しくて手がかりません。このレースのパドックでは、周りの雰囲気がいつもと違うなと感じ取っていたように思います。ゴール直後はG Iを勝ったという実感は特にありませんでしたが、後からじわじわと。今後も普段どおり自分の仕事をこなしていきたい。」と語ってくれました。

実力を証明したアジアエクスプレス号は、現在放牧中とのことです。今後の活躍が楽しみです。



手塚 貴久 調教師



田中 良太 厩務員



「第136回中山大障害」

アポロマーベリック号

12月21日、中山競馬場(4100m芝コース)で行われた第136回中山大障害にて、美浦トレーニング・センター堀井雅広厩舎所属のアポロマーベリック号が優勝しました。

好スタートから最初の障害を先頭で飛越したアポロマーベリック号。その後は3番手の位置につけたまま、レース中盤まで軽やかに次々と障害を飛越していくと、終盤はペースを保ったまま自然とトップに立つ展開。最終コーナーを回る時点では、すでに3馬身差をつけていた後続をゴール前の直線でさらに引き離し、8馬身差をつけて圧勝しました。

瀬戸口調教厩務員は、「ちょっとやんちゃな感じで、いつもはレース前でも活発な雰囲気ですが、今回はすごく落ち着いていました。レースを見ていて、最後に後続を大きく引き離していったときは頭が真っ白になり、今までの思いが巡ってきて胸がいっぱいになってしまいました。」と語ってくれました。

圧倒的な強さでJ・G Iを初制覇したアポロマーベリック号は、春のレースに向けて放牧中だそうです。一層の飛躍を期待しましょう。



堀井 雅広 調教師



五十嵐 雄祐 騎手



瀬戸口 寛 調教厩務員